

CASBEE 広島 2016年版
医療法人社団 曙会 シムラ病院

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境							0.40		-	3.0
1 音環境						2.6	0.15	2.6	1.00	2.6
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.41	3.0	0.41	
1.2 遮音						3.0	0.41	3.0	0.41	
1 開口部遮音性能						3.0	0.49	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.51	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.17	1.0	0.17	
2 温熱環境						2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温						3.0	0.41	3.0	0.58	
2 外皮性能						3.0	0.27	3.0	0.42	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.32	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						2.8	0.25	3.5	1.00	3.0
3.1 昼光利用						3.6	0.30	4.1	0.30	
1 昼光率		共用部分:2.2% 居室部分:2.15%				4.0	0.60	5.0	0.59	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.04	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.37	
3.2 グレア対策						2.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御						2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	1.0	0.15	
3.4 照明制御		ベッド単位で照明制御出来る。				3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境						3.7	0.25	3.7	1.00	3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.51	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		天井裏以外の建築材でF☆☆☆☆を満たしている				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						2.5	0.31	3.3	0.38	
1 換気量		換気回数0.5回/h以上≥建築物衛生法基準×1.2				4.0	0.49	4.0	0.33	
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積≥居室床面積*1/10				3.0	0.03	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.49	1.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.17	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙				5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.0
1 機能性						2.4	0.40	4.0	1.00	2.8
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		居室面積10㎡以上				-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観		居室天井高2.5m以上				-	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		磁器質タイル=補修必要間隔40年				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		評価B以上の配管を採用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.9	0.30	3.2	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			2.8	0.26	3.4	0.50	
1 階高のゆとり			2.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率 共用部:0.17 居室:0.26	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.26	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.48	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		非住宅部BPI=0.84 住宅部外皮性能(加重平均):等級4	4.5	0.19	-	-	4.5
2 自然エネルギー利用			2.8	0.10	-	-	2.8
3 設備システムの高効率化		[BE][BEIm]: -	2.5	0.51	-	-	2.5
4 効率的運用			2.1	0.20	-	-	2.1
集合住宅以外の評価			2.0	0.87	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	0.13	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	1.00	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上の分別が容易である	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.20	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		接着剤・塗料には有害物質を含まないものを採用	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0かつGWP1以下の断熱材を採用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2抑制を図る	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2 振動			3.0	0.33	-	-	
3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		屋外広告物照明を設置しない	4.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	